

トップメッセージ



独自の製品を供給して 社会に貢献する

今や電子機器は社会になくはならない存在となりました。そして、私たちの身の回りのあらゆる電子機器は「より小さく、より多機能に、より高機能に」ということが常に求められ、中に搭載される電子部品にも同じことが求められています。材料となるセラミック粒子をナノレベルで制御する技術、複数の機能を極めて小さなパッケージに格納するモジュール技術、高速・大容量のデータをやりとりする通信技術などを開発、提供することにより、生活をより便利に、豊かにすることが私たちの使命です。また、こうした要求と同時に、製品や事業活動によって生じる環境負荷をいかに低減し地球環境との共存を図ることができるかが、当社にとって大きな使命だと考えています。

こうした中、2005年度はいくつかの成果をあげることができました。製品に関して言えば、2006年7月に発効した欧州RoHS指令への対応を早期に完了するとともに、規制に含まれない用途や化学物質に関しても独自の基準を定め、自主的な取り組みを進めています。また、事業活動に関しては、本社においてISO14001の認証を取得し、これによってグループ全体で環境マネジメントシステムのPDCAサイクルを回す体制が整いました。さらに今後は、マルチサイト認証への切り替えを予定しており、効率良く、より高い成果をあげることができると期待しています。また、国内の複数の事業所に大規模なコージェネレーションシステムを導入するなど積極的な設備投資を行ったことで、CO₂排出量を削減できる体制を整備しました。

株式会社村田製作所
代表取締役社長

村田 泰隆

事業にかかわるすべての人とともに栄える

また、われわれが事業活動を進めて行くにあたっては、ステークホルダーとのかかわりや対話を抜きにしては語れません。これは、当社の社是にある「協力者との共栄をはかる」という中にも示されているとおり、自分たちだけでなく事業にかかわるすべての人々がともに栄えることが必要であるとの考えと一致しています。

お客様である電子機器メーカーとは、将来求められる機能は何か、そのために電子部品にはどのようなことが必要かを常に話し合い、開発の初期段階からテーマを共有するとともに、技術交流なども積極的に行っています。また、昨今求められ始めている「グリーン調達」から「CSR調達」への流れもエレクトロニクス業界全体で取り組まなければならない課題であるにとらえ、当社もグループ全体への徹底を図るために常に取り組みを把握し、自己チェックを怠らないことが必要であると考えています。

従業員満足の上昇は、今後柱となるべき経営課題です。ムラタの目指す従業員満足は、顧客満足と密接にかかわっています。お客様からの期待に応えることによって、従業員のやりがい、意欲、情熱が高まり、従業員が成長します。従業員自身が成長することによって、新たな価値の創造と提供が可能となり、お客様の満足につながります。そして、それがさらにムラタへの高い期待となり、従業員のやりがいにつながっていくという良い循環をつくっていきます。このためにさまざまな切り口で幅広い層を対象とした教育、研修を通して人材育成に積極的に取り組んでいきます。

また、当社はさまざまな国や地域で事業を展開しており、その国や地域の方々とコミュニケーションを図り、事業に理解をいただくことが大切であると認識しています。その一環として、2005年度から、本社において小中学生を対象にした環境学習を開始しました。今後も村田製作所グループ全体で、未来を担う子どもたちにこうした学習の機会を積極的に提供していこうと考えています。

誠実な企業こそが 長期的に事業を発展させる

ここにご紹介したのは取り組みの一端ですが、当社グループの社会的な責任を果たすための取り組みが、着実に実を結んできていることを実感しています。一方で、まだまだやるべき課題が多く残されているのも事実です。社会からの企業への要請は日々高まり、複雑になってきています。これに応えながら、なおかつ事業としても発展していくことは決して容易なことではありません。しかし、このような社会的責任を誠実に果たす企業こそが社会から認められ、将来にわたって事業を継続し発展していくことができると考えています。

このレポートを多くの方にお読みいただき、当社グループの考えや取り組みをご理解いただき、忌憚のないご意見をいただければと思います。

**社会的責任を誠実に果たす企業こそが社会から認められ、
将来にわたって事業を継続し発展していくことができる**